

令和7年度 多様な地域交通資源活用に係る調査



令和8年3月11日
伊豆地域公共交通活性化協議会

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

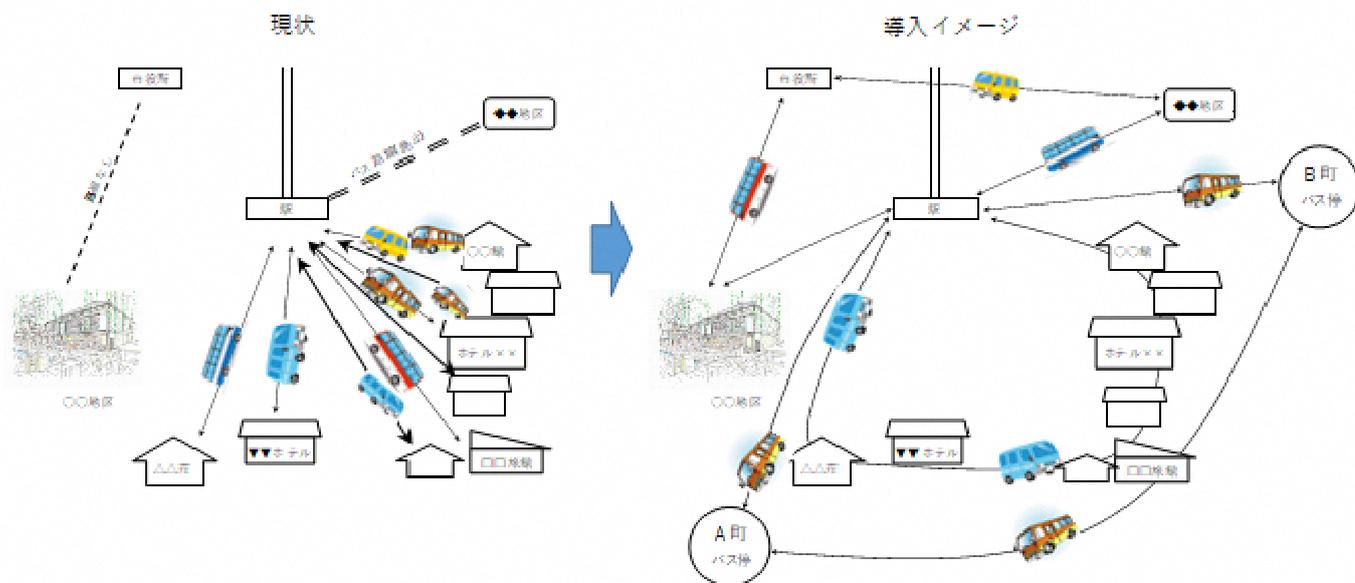
1

背景

- ・バスやタクシーの減少や運転手の不足等により、住民の移動に不便が生じている。また、増加する観光需要に対して移動手段の確保も課題となっている。
- ・有効な対策の一つとして、共助型交通をはじめとする公共ライドシェアが考えられることから、様々な業種の関係者が連携し、地域にある資源や人材を効果的に活用できないか調査を行う。

概要

観光地や交通空白地において、持続可能な交通手段を維持・確保する必要があることから、地域の事業所（宿泊施設、各種学校等）が保有する送迎車両の現状を調査することにより、潜在的な輸送資源として活用できないか可能性を模索する。



3

調査内容

調査地域	観光地かつ過疎地である地域 ⇒賀茂地域の1市5町、伊豆市
調査対象 ⇒全763事業所 ()は事業所数	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル、旅館等の宿泊施設 (638) ・観光施設 (41) ・各種学校 (6) ・医療・社会福祉施設 (57) ・自動車販売店等 (21：ヒアリング対応)
アンケートの質問項目	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の現状 (運転手数、車両の大きさや保有台数、運行体制等) ・他施設との共同送迎の可否 ・送迎対象者と住民の混乗の可否

4

調査内容

【旅館組合等への事前説明】



【自動車販売店等へのヒアリング】



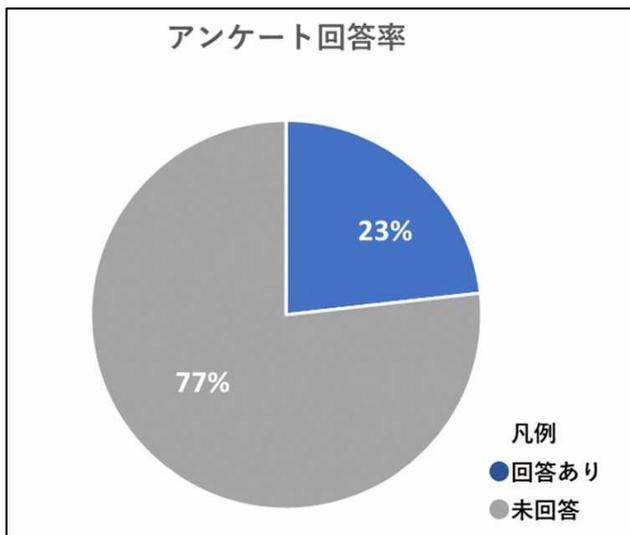
5

調査結果（アンケート）

1. アンケート回答数

（単位：事業所）

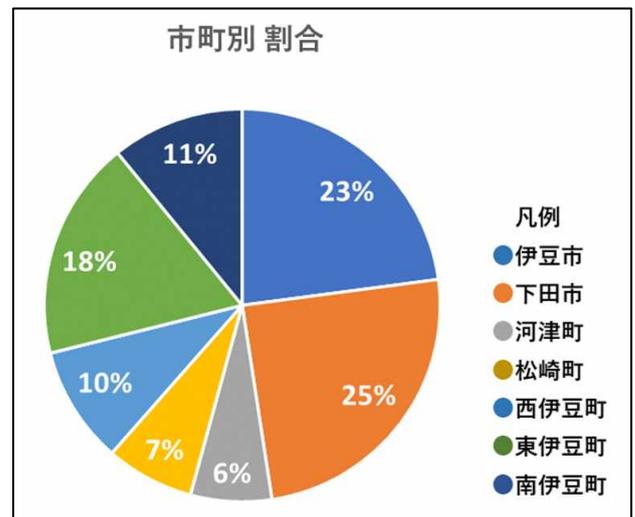
アンケート送付数	回答あり	未回答
715	166	549



2. 「回答あり」の市町別内訳

（単位：事業所）

伊豆市	下田市	河津町	松崎町	西伊豆町	東伊豆町	南伊豆町	合計
38	41	11	12	16	30	18	166



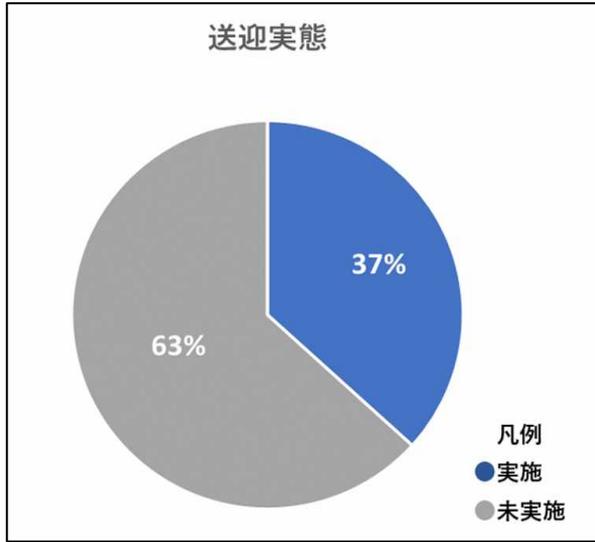
6

調査結果（アンケート）

3.現時点での送迎実施の有無

（単位：事業所）

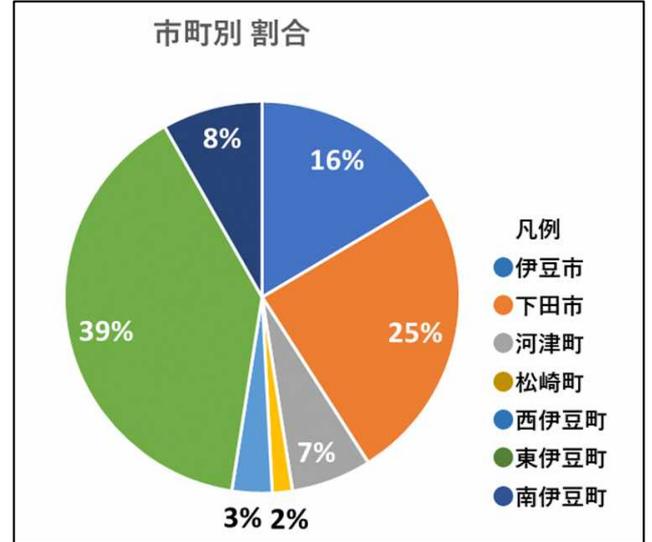
送迎実施	送迎未実施
61	105



4.「送迎実施」の市町別内訳

（単位：事業所）

伊豆市	下田市	河津町	松崎町	西伊豆町	東伊豆町	南伊豆町
10	15	4	1	2	24	5



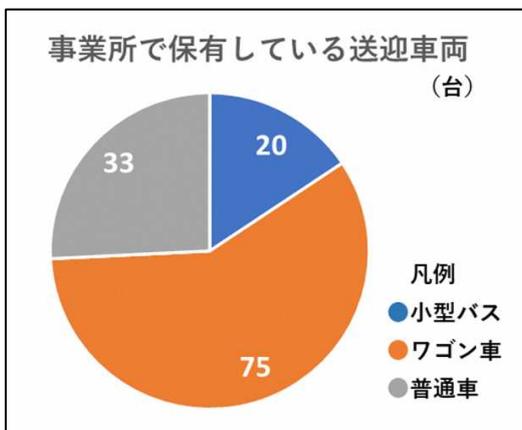
7

調査結果（アンケート）

5.送迎車両の現状

（単位：台）

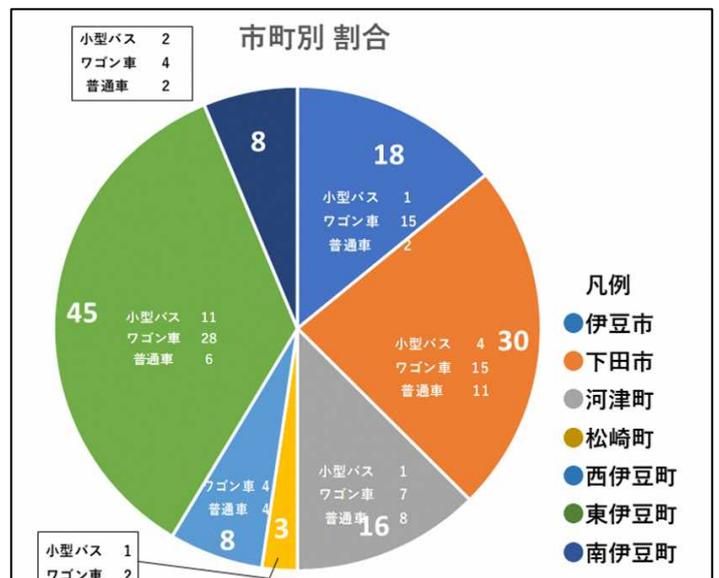
小型バス	ワゴン車	普通車	合計
20	75	33	128



送迎車両の車種の状況

（単位：事業所）

車両	伊豆市	下田市	河津町	松崎町	西伊豆町	東伊豆町	南伊豆町
小型バス	1	4	1	1		11	2
ワゴン車	15	15	7	2	4	28	4
普通車	2	11	8		4	6	2
合計	18	30	16	3	8	45	8



8

調査結果（アンケート）

6. レンタカーの現状

地区	名称	社有車の台数
伊豆市	ニコニコレンタカー (小出商事) 修善寺インター店	10台 (乗7・軽3)
	日産レンタカー 修善寺駅前店	150台 (乗100 750台)
下田	トヨタレンタリース 下田駅前店	乗用車2800台 バス16台 福祉車両14台
	ニッポンレンタカー 下田駅前店	他店からの応援 (用意可能) 繁忙期は20台あり
松崎	伊豆バス (松崎営業所)	乗用車72台 軽自動車10台 マイクロバス3台 リース車4台

7. 送迎運転手の現状

市町名 (事業所)		運転手数	うち専属	うち2種
下田市	15	41人	10人	5人
伊豆市	10	24人	6人	2人
東伊豆町	24	60人	14人	6人
河津町	4	20人	0人	4人
南伊豆町	5	12人	2人	4人
松崎町	1	2人	2人	0人
西伊豆町	2	6人	2人	0人

9

調査結果（アンケート）

8. 他施設との共同送迎の実施可否

(単位：事業所)

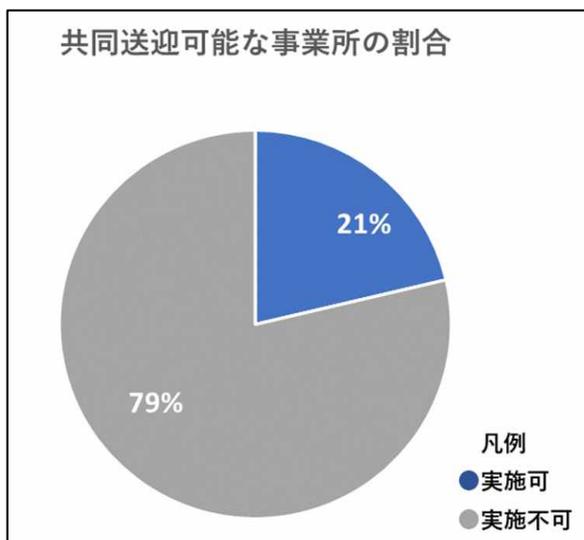
実施可	実施不可
13	48

共同送迎可能な事業所 市町別 内訳

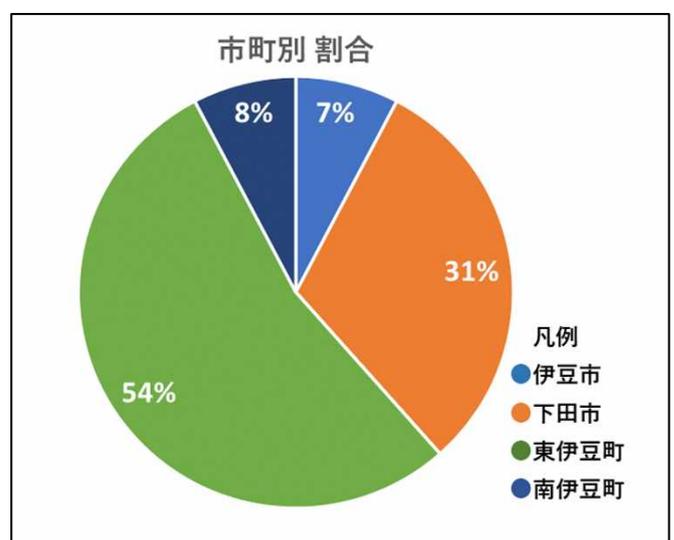
(単位：事業所)

伊豆市	下田市	河津町	松崎町	西伊豆町	東伊豆町	南伊豆町	合計
1	4	0	0	0	7	1	13

共同送迎可能な事業所の割合



市町別 割合



10

調査結果（アンケート）

9.地域住民との混乗の実施可否

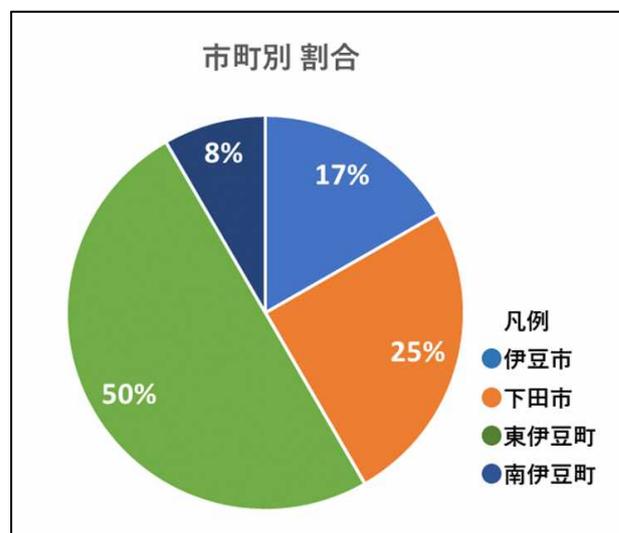
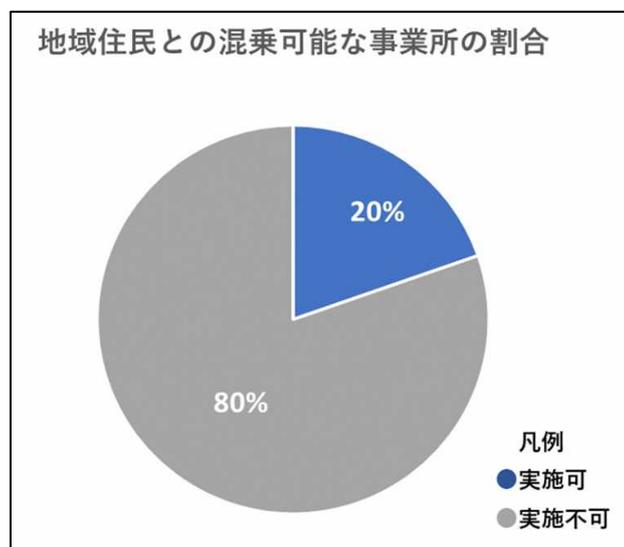
（単位：事業所）

実施可	実施不可
12	49

住民混乗可能な事業所 市町別 内訳

（単位：事業所）

伊豆市	下田市	河津町	松崎町	西伊豆町	東伊豆町	南伊豆町	合計
2	3	0	0	0	6	1	12



11

調査結果（アンケート）

10.自由意見等

運行を外部に委託すれば解決できるかも…

- 車両や運転手が確保できないため、現時点で送迎を行っていないが、周辺のお施設と一緒にできるように調整してもらえれば、地域住民との混乗が可能。⇒13事業所/105事業所
- 現時点で送迎を行っているが、下記の課題が解決されれば地域住民との混乗が可能。⇒12事業所/61事業所
 - ・ 法律や制度の規制緩和※
 - ・ 事故やトラブル時の責任の所在
 - ・ 体制づくり（行政や各種協会が運行主体に）
 - ・ 運転手の確保
 - ・ 人件費や燃料費の費用負担

※現行制度では、他施設への立寄りや共同送迎ができない
と思い込んでいる事業所もあった⇒制度の周知不足

12

調査結果（ヒアリング）

【自動車販売店】

- 人員不足のため、**運転手**を提供することは**不可**。
- **試乗車**や**代車**を地域住民の移動に活用することは**難しい**。
（休業日に代車をレンタカーやシェアカーとして貸し出すことは可能かもしれない。ただし、事故時の責任の所在が問題あり。）

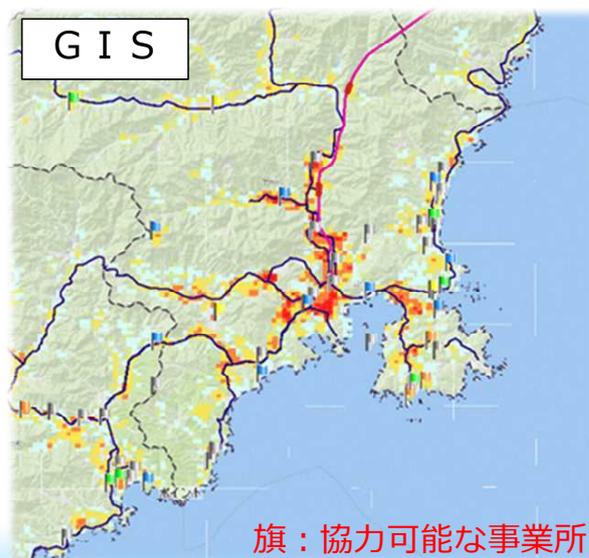
【レンタカー店舗】

- 人員不足のため、**運転手**を提供することは**不可**。
- 車両は、店舗にストックがなくても、需要に応じて県内外の店舗から調達することが可能なので、送迎に必要な車両を**レンタカー**として貸し出すことは**可能**。

13

市町との検討

- アンケート及びヒアリングの結果を情報共有
- 地域住民との混乗に協力いただける事業所をGIS上で把握し、送迎を活用した住民移動の可能性のある地域の洗い出し
- アンケート結果を踏まえ、南伊豆町内で実証実験を実施することを決定



14

実証実験

【運行ダイヤ】

第1便 16:00 出発			第2便 18:30 出発			第3便 20:15 出発		
バス停	行き	帰り	バス停	行き	帰り	バス停	行き	帰り
小幡	16:00	17:28	小幡	18:30	19:58	小幡	20:15	21:28
手石	16:02	17:26	手石	18:32	19:56	手石	20:17	21:26
弓ヶ浜大橋	16:04	17:24	弓ヶ浜大橋	18:34	19:54	弓ヶ浜大橋	20:19	21:24
弓ヶ浜温泉	16:06	17:22	弓ヶ浜温泉	18:36	19:52	弓ヶ浜温泉	20:21	21:22
休暇村	16:08	17:20	休暇村	18:38	19:50	休暇村	20:23	21:20
弓ヶ浜温泉	16:10	17:18	弓ヶ浜温泉	18:40	19:48	弓ヶ浜温泉	20:25	21:18
弓ヶ浜大橋	16:12	17:16	弓ヶ浜大橋	18:42	19:46	弓ヶ浜大橋	20:27	21:16
日野	16:14	17:14	日野	18:44	19:44	日野	20:29	21:14
コメリ	16:18	17:10	コメリ	18:48	19:40	コメリ	20:33	21:10
日野	16:22	17:06	日野	18:52	19:36	日野	20:37	21:06
老人ホーム前	16:24	17:04	老人ホーム前	18:54	19:34	老人ホーム前	20:39	21:04
九条橋	16:26	17:02	九条橋	18:56	19:32	九条橋	20:41	21:02
マックスバリュー	16:28	17:00	マックスバリュー	18:58	19:30	マックスバリュー	20:43	21:00

17

実証実験

【乗車人数：8.71人/日】

(単位：人)

	1月21日(水)	1月22日(木)	1月23日(金)	1月26日(月)	1月27日(火)	1月28日(水)	1月29日(木)	合計
1便	4	1	5	3	3	8	5	29
2便			3			5		8
3便	1		6	1		9		17
合計	5	1	14	4	3	22	5	54

- ・ 2便目は夕食の時間と重なるため、利用が少なかった
- ・ 需要が時間帯・曜日により偏る（スーパーの特売日等が影響）



18

実証実験

【利用者アンケート】

満足度は？

良い	普通	悪い
30人	6人	2人



【利用者からの主な要望】

- ・ 午前中・昼頃などもっと早い時間で運行してほしい
- ・ 買い物時間をもう少し長く（30分～1時間）
- ・ 今後も継続してほしい
- ・ 荷物を置く場所がない

今後も利用したいですか？

ぜひ利用したい	あまり利用したくない	利用したくない
33人	6人	0人

【課題】

- ・ 多様な運行ダイヤを求める声
⇒ 運行費用増や運転手確保
- ・ 買い物時間の確保
- ・ 需要が時間帯・曜日により偏る
- ・ 低い支払意志額
⇒ 持続可能な運行の難しさ

いくら支払えますか？（今回は無料）

100円	10人
200円	15人
300円	4人
400円	1人
500円	2人



19

考察

- 旅館組合等で事前説明を行うなど、アンケートの周知に努めたが、**アンケートの回収率はそれほど多くなかった。**
- 旅館組合等での事前説明では、熱心な意見をいただくなど協力的な事業所が多いと期待していたが、**協力的な事業所は想像していたほど多くなかった。**
- 自動車販売店やレンタカー店舗の資源（車両や運転手）も活用できると見込んでいたが、現実的には難しいことが判明した。

一方で、

「近隣施設と連携し、車両や運転手を共有できれば、地域住民との混乗が可能」や「事故時の責任所在や費用負担等の課題が解決されれば、地域住民との混乗が可能」など、**実際に問題なく運行できれば協力できるという事業所が多かった。**

20

今後の展開

- 送迎を活用した住民移動を、市町との検討において洗い出した地域で実現できるよう、**市町と連携し、関係者と具体的な調整を行っていく。**
- 南伊豆町での実証実験では、運行を委託した場合の費用を把握できた。関係者との調整においては、その費用を提示した上で、**責任の所在（＝運行主体）や費用負担のあり方など、課題を解決するための建設的な議論を進めていく。**
- 上記の調整・議論ができた地域から、**順次実証実験を行う。**
（実証実験に係る費用は、今年度と同様に、「交通空白」解消緊急対策事業を活用予定）
- 賀茂地域以外の地域においては、今回調査のノウハウ（アンケート用紙等）を活用し、横展開する。**